

愛知時計電機株式会社

平成30年3月期 第2四半期決算説明

平成29年12月13日(水)

1. 平成30年3月期第2四半期決算概要 P.2

2. 平成30年3月期 業績予想 P.9

3. 中期経営計画2017 P.17

4. トピックス P.22

平成30年3月期第2四半期 連結損益

単位：百万円

	平成29年 3月期 第2四半期	平成30年3月期第2四半期					
		実績	前年同期比		当初計画 (H29.5.10)	当初計画比	
			増減	%		増減	%
売上高	21,061	22,528	1,467	7.0	22,340	188	0.8
営業利益	821	1,373	552	67.2	770	603	78.4
経常利益	633	1,519	885	139.8	940	579	61.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	422	1,100	677	160.3	630	470	74.7

〈前年同期比〉

- ・売上高は前年に引き続き連続増収、利益面でも3期連続の増益

〈当初計画比〉

- ・売上高は、海外向けが各分野とも増加となり過去最高に
- ・利益面でも、原材料高や販売価格低下が軽微に留まったことに加え、原価低減諸施策の実施により過去最高に

平成30年3月期第2四半期 事業別売上高



単位:百万円

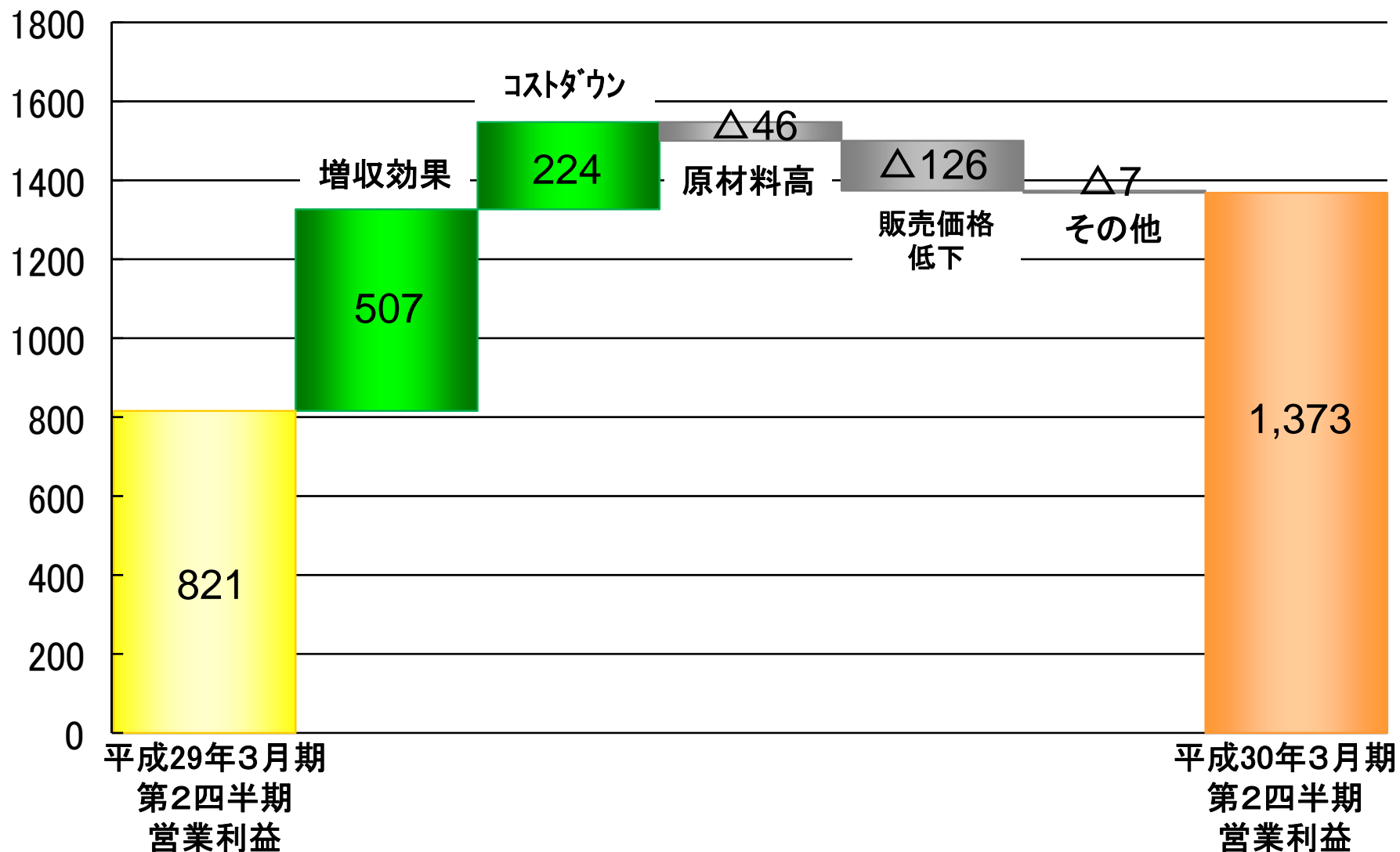
	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減	%
ガス関連機器	10,894	11,612	717	6.6
水道関連機器	8,314	8,629	314	3.8
民需SS	1,068	1,184	115	10.8
計装	740	1,071	330	44.6
特機	42	31	△10	△25.5
合計	21,061	22,528	1,467	7.0
(うち輸出)	(1,005)	(1,346)	(340)	(33.9)

- ・ ガス関連機器は、家庭用プロパンガスメーターが需要サイクル上昇期にあり、前年に引き続き増収
- ・ 水道関連機器は、海外市場への営業強化などにより国内外ともに増収
- ・ 民需SSは、海外での新市場開拓にも積極的に取り組み国内外ともに増収
- ・ 計装は、受注拡大に向け提案力や施工能力の強化推進。年度当初に大口物件の売上あり

平成30年3月期第2四半期 連結営業利益増減要因分析

 Aichi tokei denki co., ltd.

単位: 百万円



平成30年3月期第2四半期 連結BSの要約 Aichi tokei denki co., ltd.

(資産)

単位: 百万円

		平成29年3月末(A)	平成30年3月期 第2四半期末(B)	増減 (B)-(A)
流動資産		29,271	28,278	△ 992
固定資産		18,727	18,968	240
固定資産内訳	有形固定資産	8,677	8,462	△214
	無形固定資産	39	41	2
	投資その他の資産	10,011	10,463	452
資産合計		47,998	47,246	△ 752

- ・ 流動資産は、売上債権の回収が進み、受取手形・売掛金を中心に9億92百万円の減少
- ・ 固定資産は、株価変動に伴う投資有価証券の増加などにより2億40百万円の増加
- ・ その結果、総資産は7億52百万円の減少

平成30年3月期第2四半期 連結BSの要約 Aichi tokei denki co., ltd.

(負債・純資産)

単位: 百万円

		平成29年3月末(A)	平成30年3月期 第2四半期末(B)	増減(B)-(A)
流動負債		12,412	10,481	△ 1,931
固定負債		11,246	11,333	87
負債合計		23,659	21,814	△ 1,844
株主資本				
株主資本内訳	資本金	3,218	3,218	-
	資本剰余金	311	311	-
	利益剰余金	18,611	19,404	792
	自己株式	△12	△90	△77
その他包括利益累計		1,862	2,215	352
新株予約権		102	125	22
非支配株主持分		245	247	2
純資産合計		24,339	25,431	1,092
負債・純資産合計		47,998	47,246	△752

- ・ 負債は、仕入債務の支払が進み支払手形及び買掛金の減少などにより18億44百万円減少
- ・ 純資産は、四半期純利益の計上などにより10億92百万円増加

平成30年3月期第2四半期 連結CFの要約 Aichi tokei denki co., ltd.

単位：百万円

	平成29年3月期 第2四半期(A)	平成30年3月期 第2四半期(B)	増減 (B)-(A)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,485	2,108	622
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,034	△1,582	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,758	△456	1,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	△2	115
現金及び現金同等物の増減額	△1,423	68	1,492
現金及び現金同等物の期首残高	7,273	6,389	△883
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	5,849	6,457	608

- 営業CFは、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少による収入などにより収入増
- 投資CFは、定期預金の増加などにより支出が増加
- 財務CFは、借入金の増減も少なく、支出は減少

1. 平成30年3月期第2四半期決算概要 P.2

2. 平成30年3月期 業績予想 P.9

3. 中期経営計画2017 P.17

4. トピックス P.22

平成30年3月期 連結業績予想

単位:百万円

	平成29年 3月期 (実績)	平成30年3月期		前年同期比	
		当初計画 (H29.5.10)	修正予想 (H29.11.2)	増減額	増減比率 (%)
売上高	44,770	45,500	46,070	1,300	2.9
営業利益	2,890	2,620	3,200	310	10.7
経常利益	3,007	2,900	3,440	433	14.4
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,235	2,010	2,510	275	12.3
1株当たり当期純利益 (単位:円)	435円58銭	391円36銭	490円62銭		

- ・全体としては、家庭用プロパンガスメーターの増収を軸に前期比で増収増益を見込む
- ・第2四半期の業績を踏まえ、今後の動向等を精査した結果、売上高・利益面ともに当初予想水準さらには前年実績を上回るものと見込み上方修正

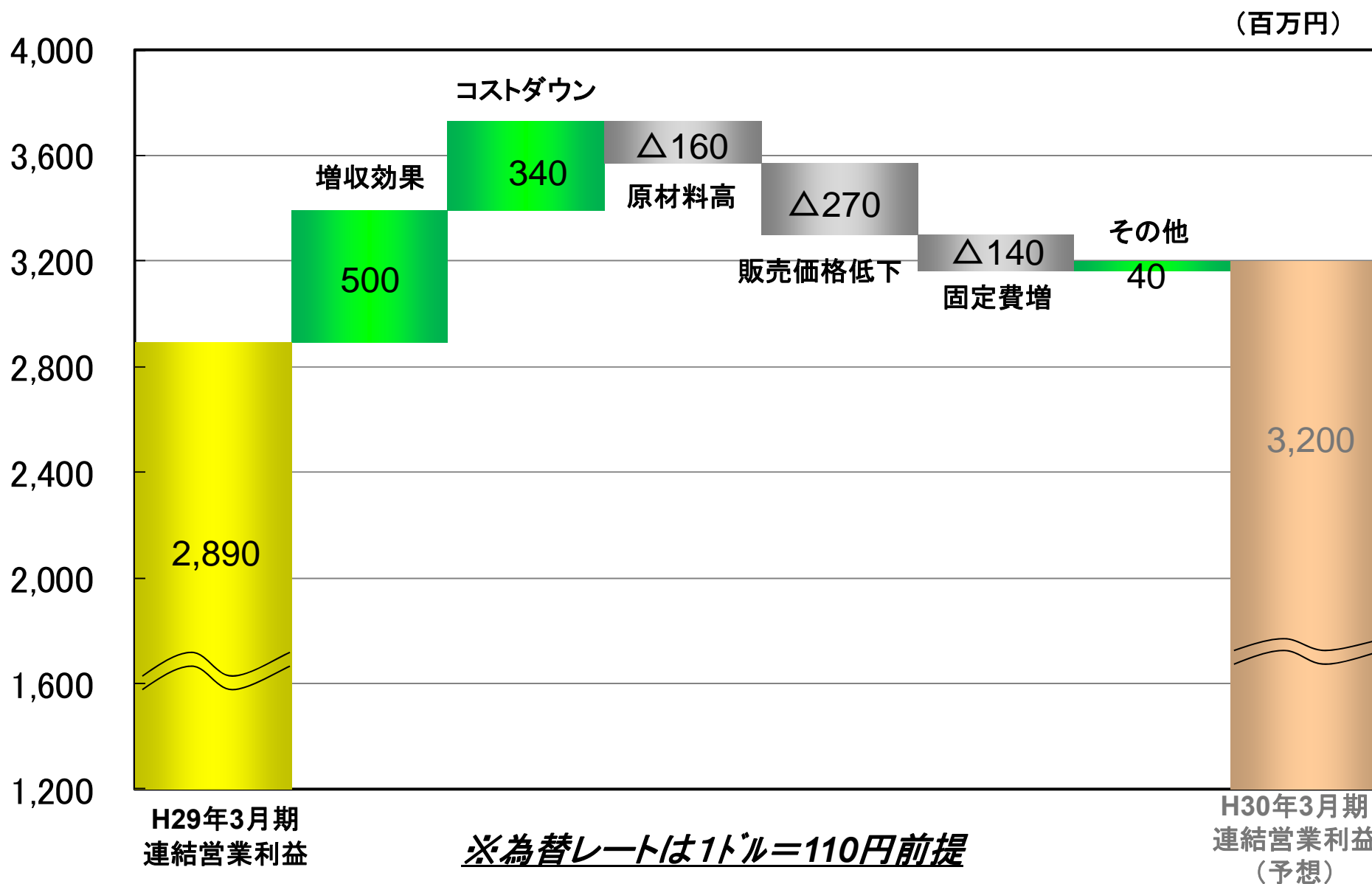
平成30年3月期 連結事業別売上高予想

単位:百万円

	前期(平成29年3月期)			通期予想(平成30年3月期)		
	金額	構成比 (%)	前々期比 (%)	金額	構成比 (%)	前期比 (%)
ガス関連機器	21,326	47.6	11.2	22,250	48.3	4.3
水道関連機器	15,503	34.6	3.3	15,700	34.1	1.3
民需SS	2,358	5.3	△0.9	2,480	5.4	5.1
計装	5,516	12.3	7.2	5,590	12.1	1.3
特機	65	0.1	△19.5	50	0.1	△23.9
合計	44,770	100.0	7.2	46,070	100.0	2.9
(うち輸出)	(2,134)	(4.8)	(30.4)	(2,548)	(5.5)	(19.4)

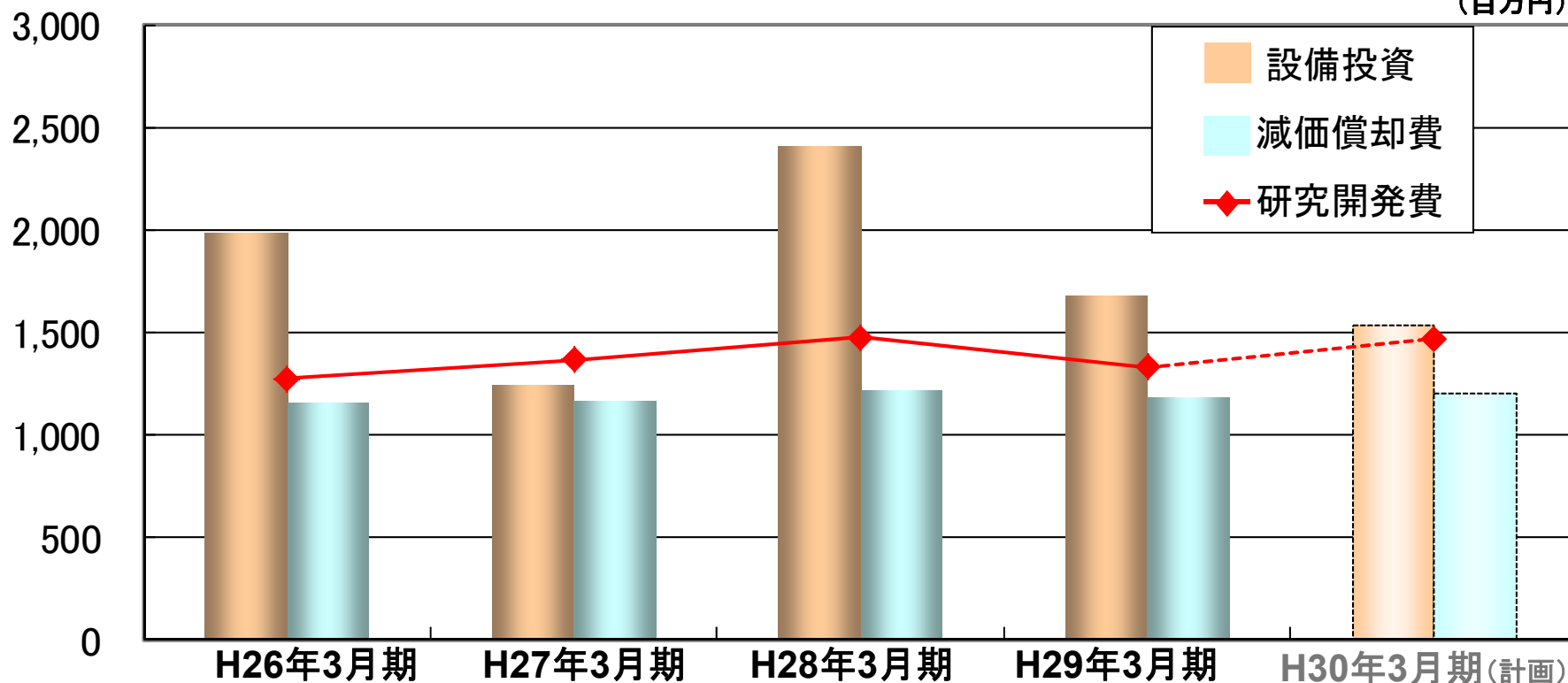
- ・計測器関連事業は、各分野とも前年を上回る見通し
- ・輸出は、上期同様に下期も前年を上回り、通期で19%増の見込み

平成30年3月期 営業利益予算増減要因分析



設備投資・減価償却費、研究開発費推移

(百万円)



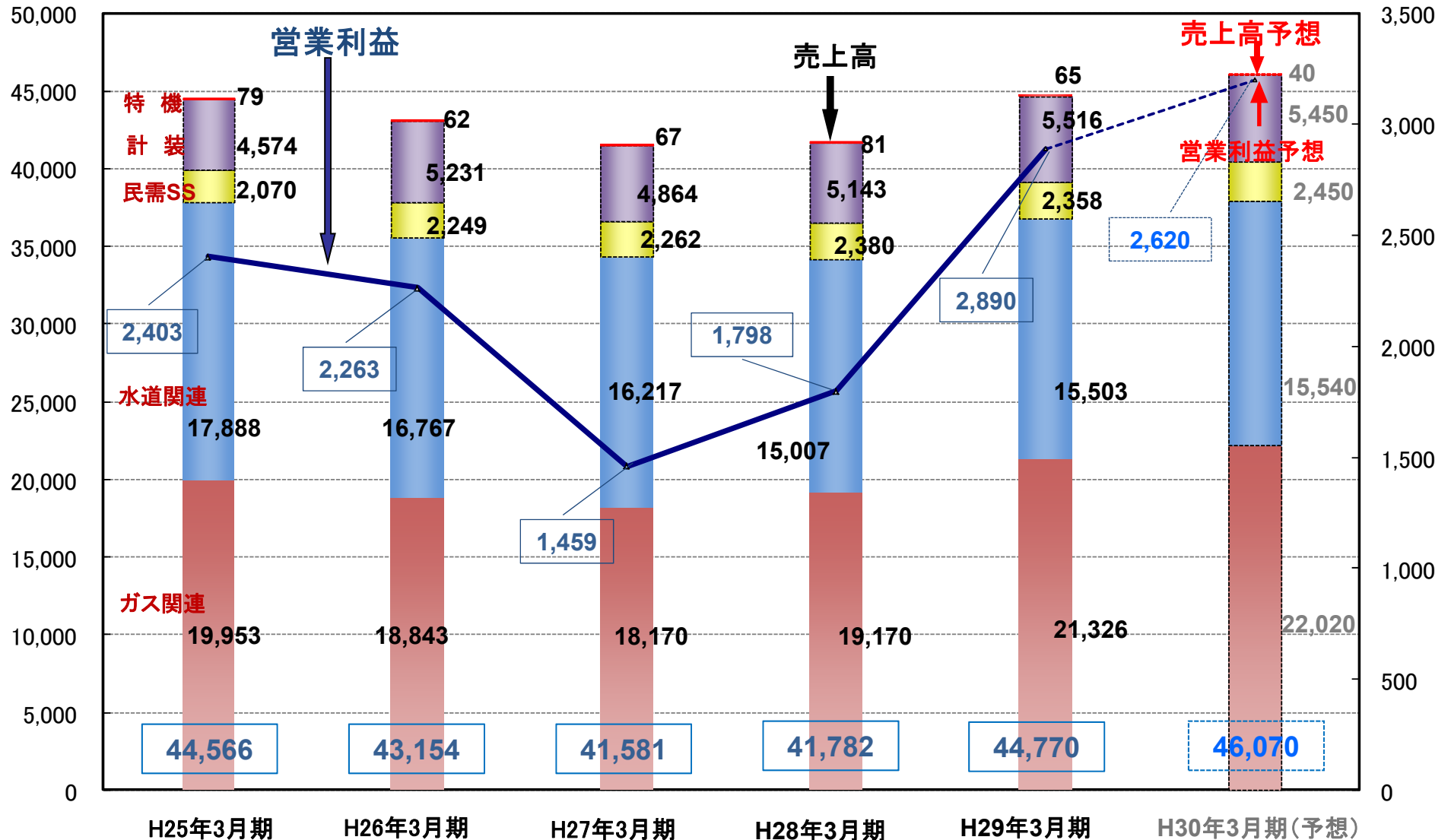
(百万円)

	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年3月期 (計画)
設備投資	1,987	1,246	2,407	1,678	1,540
減価償却費	1,155	1,166	1,219	1,182	1,210
研究開発費	1,278	1,370	1,476	1,332	1,470

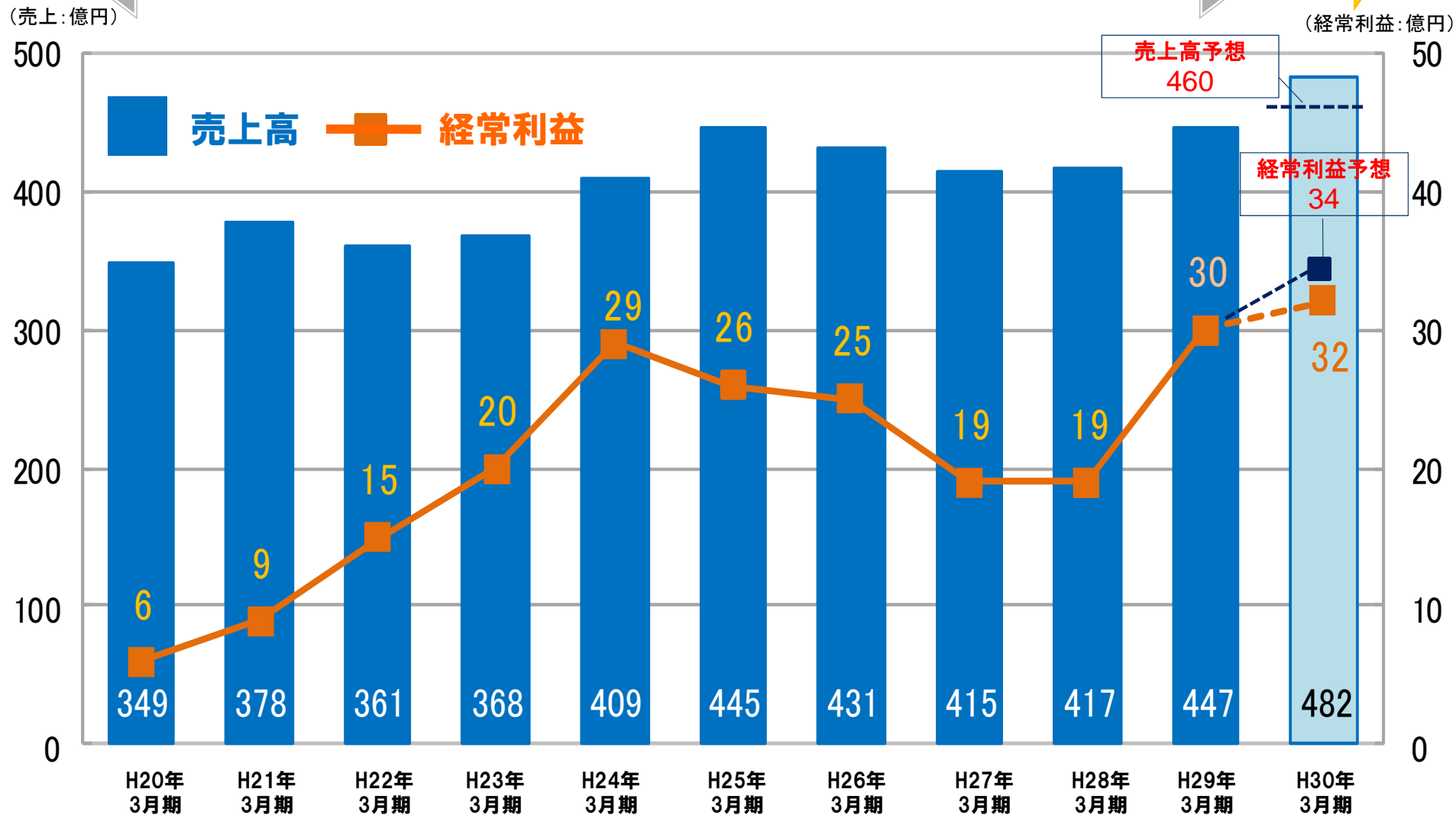
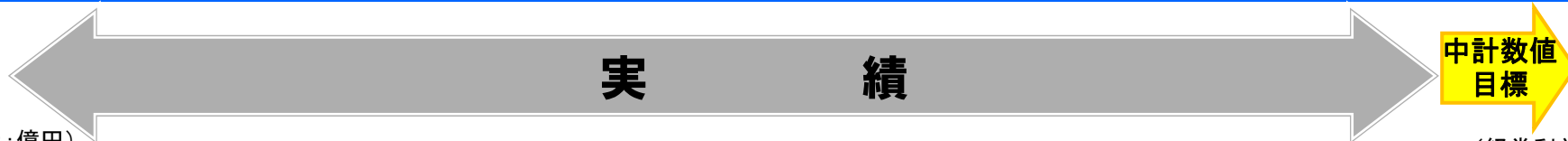
連結業績の推移(売上高、営業利益推移)

売上高(百万円)

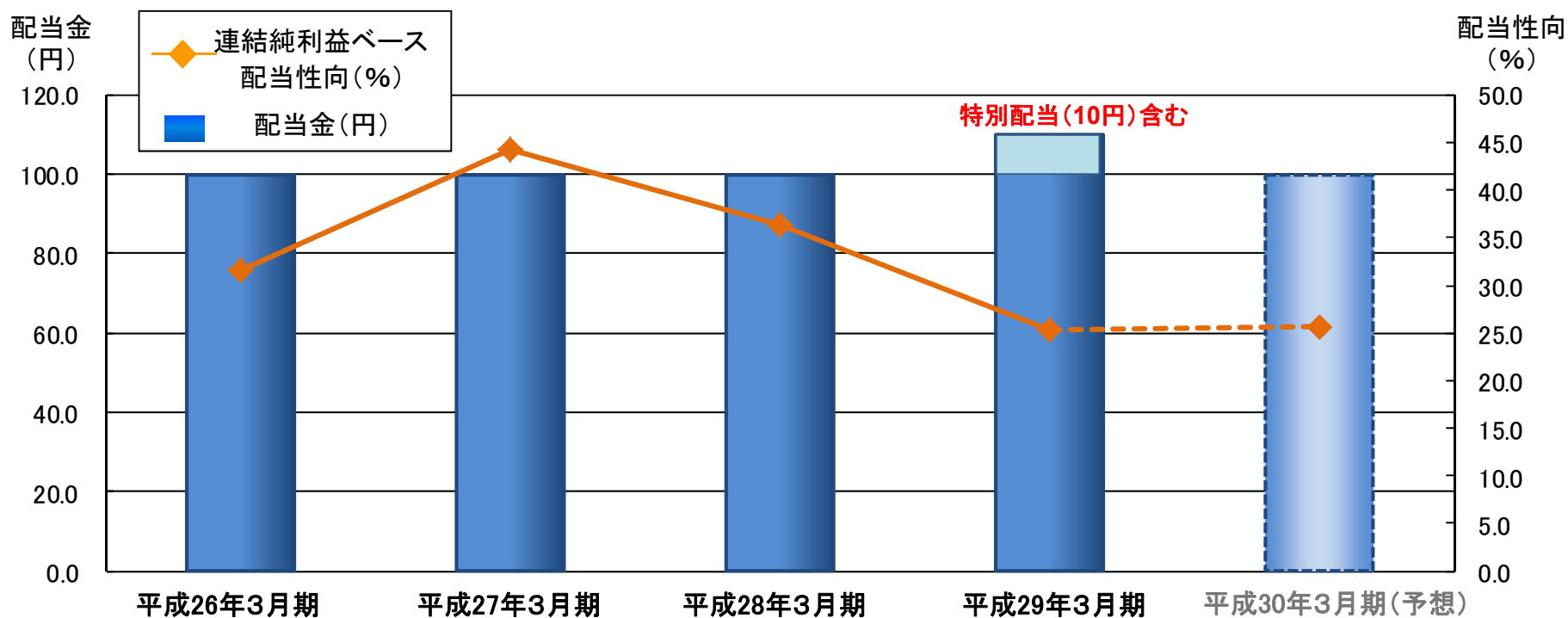
営業利益(百万円)



連結業績の推移



配当金推移



	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年3月期 (予想)
配当金	100円	100円	100円	110円 100円+10円(期末)	100円
配当性向	31.6%	44.3%	36.4%	25.3%	20.4%

※ 平成28年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を行っており、グラフは株式併合後ベースで作成しております。

- ・配当性向については、財務及び投資計画を勘案したうえで中期経営計画期間で平均30%を目途に株主還元を行う方針

1. 平成29年3月期第2四半期決算概要 P.2

2. 平成29年3月期 業績予想 P.9

3. 中期経営計画2017 P.17

4. トピックス P.22

ミッション [当社の使命]

「信頼・創造・奉仕」の企業理念のもと、「スマート社会に貢献するテクノロジー」を磨き、お客様に「新しい価値を創造し、提供し続ける」ことで、社会に貢献する

ビジョン [当社の目指すべき姿]

安心・安全・快適なライフラインの実現に貢献する

新しい価値を生み出す商品を提供する

社会に愛され、必要とされる企業を目指す

数値目標

(億円)

	H28年 3月期		H29年 3月期		H30年 3月期	
	中計	実績	中計	実績	中計	業績 予想
売上高	422	417	452	447	482	460
経常利益	24	19	28	30	32	34
当期純利益	15	14	18	22	21	25
R O E	7.1%	6.6%	7.8%	9.8%	8.5%	—

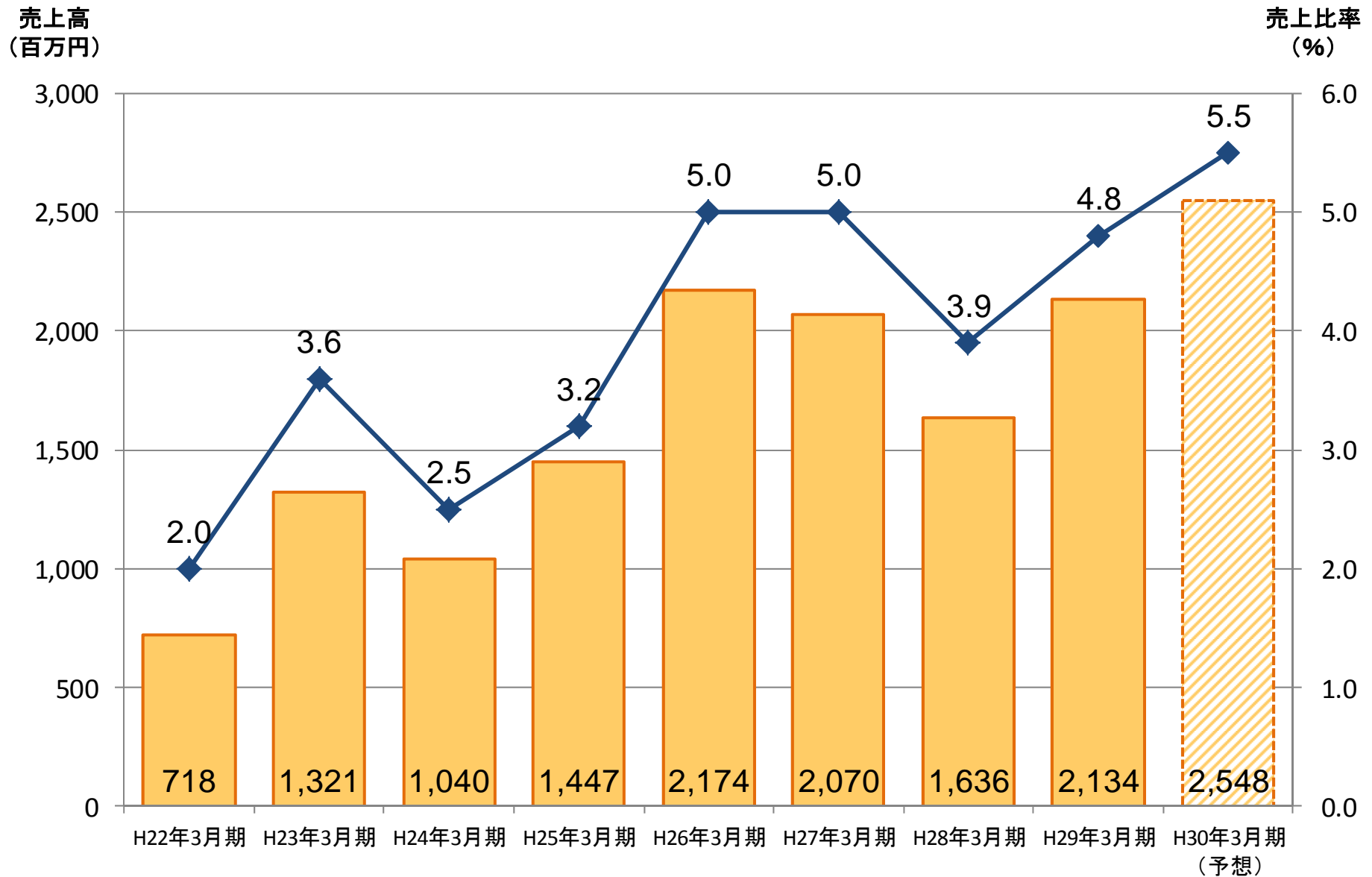
R O E

当期間内に 8%以上

配当性向

3年間平均で 30%以上

海外売上推移



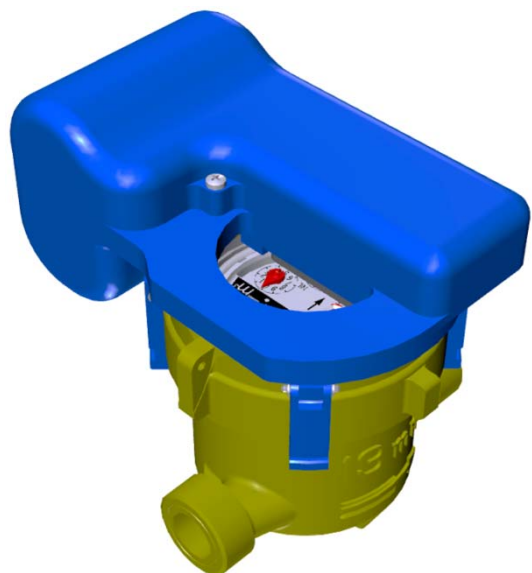
基盤事業の 収益向上	①水道メーターの収益改善	○
	②プロパンガスメーター需要期の売上・利益拡大	○
	③計装市場における売上増	○
新規事業 市場拡大	④技術シーズによる新商品へのチャレンジ	△
	⑤海外市場への拡大	○
経営力の 強化	⑥持続的成長と企業価値向上に向けて	○
	⑦スリムな経営体質への転換	○

1. 平成29年3月期第2四半期決算概要 P.2

2. 平成29年3月期 業績予想 P.9

3. 中期経営計画2017 P.17

4. トピックス P.22



愛知時計電機とファーウェイ
水道検針へのNB-IoT活用に向けて
技術検証を開始

高松水道展2017で共同デモを実施

愛知時計電機
スマートメータ

ファーウェイ
開発ツール「SoftRadio」

ファーウェイ
IoT 接続管理プラットフォーム
「OceanConnect」

愛知時計電機
サービス
プラットフォーム



トピックス



LoRaWAN 実証実験 in 徳島

＜免責事項＞

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や合理的であると判断致しました一定の前提に基づくものであり、様々な要因により実際の業績などが大きく異なる可能性があります。

弊社 I R に関するお問い合わせは
経営企画室 まで

T e l : 052-661-0567

E-mail : ccs@inet1.aichitokei.co.jp